

第63回千葉県公民館研究大会開催要項

テーマ：希望をつむぐ！公民館

～心ふれあう故郷（ふるさと）づくり～

1. 趣旨 家庭・地域の教育力の低下、地域コミュニティの希薄化、さらに市町村合併、指定管理者制度の導入、行財政改革の中で施設の統廃合や予算、人員配置の見直しなど、公民館を取り巻く環境は大きく変化し厳しい環境にあります。

こうした中、社会教育法が制定されてから60年を経た今日でも、公民館は、地域の子どもたちから高齢者までが気軽に集い・ふれあい・学ぶことのできる身近な教育機関です。

これからの公民館が、まちづくりの拠点として地域に愛され、親しみをもってもらえるよう「たのしい、ためになる、たよりになる」そんな希望をつむいでいくような公民館のあり方を考えます。

2. 主催 千葉県公民館連絡協議会

3. 主管 第63回千葉県公民館研究大会実行委員会
安房地方公民館連絡協議会

4. 後援 千葉県教育委員会、館山市教育委員会、鴨川市教育委員会、
南房総市教育委員会、鋸南町教育委員会

5. 協賛 千葉県市長会、千葉県町村会、千葉県社会教育委員連絡協議会

6. 期日 平成23年11月17日（木）

7. 会場 千葉県南総文化ホール
〒294-0045 千葉県館山市北条740-1
TEL 0470-22-1811
館山市コミュニティセンター
〒294-0045 千葉県館山市北条740-1
TEL 0470-23-3111

8. 参加者 公民館職員、公民館運営審議会委員、教育委員、社会教育委員、生涯学習審議会委員、教育委員会事務局職員、社会教育団体関係者、社会教育関係施設職員、その他研究大会参加希望者

9. 参加費 2,000円（資料代込み）

10. 参加申込み

- (1) 各市町村は、別紙参加申込書「様式1」により、9月14日（水）までに、参加費を添え、各単位公連事務局へお申し込みください。
- (2) 各単位公連事務局は、別紙参加申込書「様式1」及び「様式2」を、9月21日（水）までに、下記送付先に郵便またはメールで送付の上、参加費を下記振込先口座にお振込みください。
※ 可能な限り、メールでお申し込みいただけますと幸いです。

送付先 第63回千葉県公民館研究大会実行委員会事務局
〒296-0002 千葉県鴨川市前原60番地 鴨川市中央公民館内
TEL 04-7093-1141
e-mail chuo-k@city.kamogawa.lg.jp

参加費振込先 千葉銀行鴨川支店（店番号229）
普通預金 3437054
口座名義 第63回千葉県公民館研究大会実行委員会
事務局長 粕谷 友子

11. 昼食について

希望者は「様式1」の希望欄に○印を記入し、当日単位公連へ現金（1,000円）でお支払いください。
（代金は単位公連で取りまとめ当日、事務局へ納入してください。）

12. 日程

9:30～10:00	10:00～10:30	10:30～12:00	12:00～13:00	13:00～15:45
受付	開会式	記念講演	昼食・休憩	分科会

13. 全体会（開会式及び講演）

会場：千葉県南総文化ホール 小ホール

○記念講演

テーマ：希望をつむぐ！公民館～心ふれあう故郷（ふるさと）づくり～

登壇者：笹井 ささい 宏益 ひろみ 氏

（国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部 総括研究官）

14. 分科会

会場：千葉県南総文化ホール・館山市コミュニティセンター
分科会のテーマ等：別表のとおり

15. 会場までのアクセス



(千葉県南総文化ホール HP より)

(1) 車でお越しの場合

館山自動車道～富津館山道路～富浦インター料金所を出て館山方面へ。会場駐車場は、南総文化ホール西側駐車場のご利用をお願いします。なお、満車の際は係員が誘導します。※駐車料金の負担はありません。

(2) 電車でお越しの場合

JR 内房線 館山駅下車徒歩約 20 分。なお、大会受付時間帯及び大会終了後については、館山駅西口と会場を車で送迎します。(利用者は、参加申込書にその旨ご記入ください。)

(3) 千葉駅より高速バスでお越しの場合

千葉駅 21 番乗り場から高速バス「南総里見号」に乗車し、南総文化ホールで下車。なお、1 つ手前の館山駅前終点の場合もありますので、事前に時刻表をご確認ください。

(別表) 分科会のテーマ等

No.	分科会名	研究テーマ	担 当
第1	地域活動拠点としての公民館	地域コミュニティ活動、NPO活動、公民館サークル活動等、地域における様々な活動の中で、目的を共有した連携やネットワークの構築など、地域の拠点として機能する公民館のあり方を探る。	県公連 館長部会
第2	自治体における公民館	地方分権の進展に伴い、住民主体の地域づくりの重要性が高まる中、多様な住民ニーズや新たな課題に対応するため、さまざまな分野の行政部局との連携や役割分担など、公民館における「連携」の機能のあり方について考える。	香取・海匠 地区公連
第3	新しい公民館の運営	指定管理による公民館運営の取り組み事例から、その効果や課題を明らかにし、社会教育機関として地域住民に必要とされる公民館の管理運営のあり方について考える。	印旛地区 公連
第4	サークル活動と職員の関わり	講座主体の公民館事業からサークルによる自主的な学習活動、さらにその学習成果の地域還元へと住民の学習活動を発展させていくために、公民館職員はどう関わるか、その役割について考える。	山武地区 公連
第5	家庭教育事業と公民館	少子化・地域の連帯感の希薄化等により、家庭の教育力の低下が指摘される今日、公民館が家庭教育・子育て支援の拠点としてどう関わるか、支援団体の育成、地域・学校との連携やネットワークづくりなど公民館の役割について考える。	夷隅地区 公連
第6	高齢社会と公民館	高齢者の生きがい・仲間づくり、社会参加への支援とともに、安全で安心な暮らしを支える公民館事業のあり方と役割を考える。	長生地区 公連
第7	公民館事業の評価	公民館事業と住民の学びをさらに充実・発展させていくための自己点検・評価の視点のあり方や公民館運営審議会等の役割について考える。	県公連 主事部会
第8	地域ボランティアの育成と公民館	地域の教育力の向上や高齢化社会へむけて、地域住民によるボランティア活動への期待は高まっている。それら活動への支援や推進、担い手となる人材の発掘や育成など、公民館が果たすべき役割について考える。	県公連 研究委員会